

つながりを つむ 紡いで

地域で一番 身近な相談員 民生委員

地域や人のつながりが弱くなっている昨今。一方で地域での支え合いや新たな仲間づくりにも力を尽くしている人たちがいます。ここでは、その人たちに活動の現状や思いについてインタビュー。これを機に、つながりの大切さをいま一度考えてみませんか。



民生委員・児童委員
紙谷 京子さん

昭和61年、町内会活動をしていた縁で前任者に推され民生委員に。北区の約300世帯を担当。年数回、自宅を開放し高齢者サロンも行う。63歳。

このページに関するお問い合わせは
保健福祉局総務課 ☎211-2932

— 民生委員としての日頃の活動を教えてください。

一人暮らしの高齢者宅への訪問が中心ですね。私の地区には、月1回の定期的な訪問を希望する高齢者が約20人います。そのお宅を回り、体調はどうか、困りごとはないか尋ねます。また、他の民生委員や町内会と協力して、子育てサロンと通学路のパトロールを月1回行っています。

感じます。一番良いのは町内会と協力して活動すること。町内会を通じて、民生委員の役割を紹介してもらうとともに、一部の高齢者の見守りは近所の人に頼んで分担しています。見守る人が増えれば、郵便受けがいっぱい、カーテンが閉めっぱなし——などの異変にも気付きやすくなりますよね。

— 問題に応じて、行政や専門

ぐ。地域の人が安心して暮らせるよう、こうした支え合いを広げたいですね。

— 苦労も多いと思いますが、早朝に電話がくることもあるし、冬には訪問途中に階段で転倒し骨折したこともあります。でも、多くの人が訪問を心待ちにしてくれています。「ありがとう」の一言でそれまでの疲れは全部吹き飛んでしまうんですよ。

民生委員とは？

民生委員は、高齢者や障がいのある方、子どもなどが安心して暮らせるようサポートするボランティア。児童委員も兼ねており、地域と市の推薦を受けて、国から委嘱されます。現在、市内では約2,800人の民生委員が、それぞれの担当地区で活動しています。

Q. どういう活動をしているの？

A. 地域の人々の困りごとの相談に乗るほか、65歳以上の高齢者への訪問調査や、一人暮らしの高齢者の見守り活動などを行っています。内容に応じて、行政や専門機関と連携して問題を解決するお手伝いをします。

Q. どんな相談ができるの？

A. 「一人暮らしで不安」「隣のおじいちゃんの様子が変わった」「子育てのアドバイスがほしい」など、生活の中で気になることや心配ごとの相談に幅広く応じます。

お住まいの地区を担当する
民生委員に連絡したいときは

お住まいの区の区役所(1階)保健福祉課に連絡してください。
担当の民生委員をご紹介します。